

U19a Aを用いたアインシュタインの相対性理論について。Aとは地表のエネルギーを1とする場合のエネルギーの比です。光子がブラックホールに吸い込まれる原理。どの軌道で吸い込まれるか。

小堀しづ

1. 時間と空間については、アインシュタインの相対性理論は1/Aに成る。2. 長さについては、アインシュタインの相対性は1/Aに成る。面積については、アインシュタインの相対性理論は1/A<sup>2</sup>に成る。体積については、アインシュタインの相対性理論は1/A<sup>3</sup>に成る。球体の体積については、アインシュタインの相対性理論は球の体積は0.523 × 1/A<sup>3</sup>に成る。球体の容積については、アインシュタインの相対性理論は1/A<sup>3</sup>に成る。3. 質量については、アインシュタインの相対性理論は適応されず、一定です。質量エネルギーについては、アインシュタインの相対性理論はA倍に成る。4. 密度については、アインシュタインの相対性理論はA<sup>3</sup>倍になる。5. 質量エネルギーについては、アインシュタインの相対性理論はE = 9.628 × 10<sup>-41</sup>Jm ÷ 公転軌道 × c<sup>2</sup>になる。又は、E = 8.665 × 10<sup>-24</sup>Jm ÷ 公転軌道になる。E=mc<sup>2</sup>は適応されない。6. 引力については、アインシュタインの相対性理論はA倍に成る。2つの物の間の引力は、A<sup>4</sup>倍に成る。ブラックホールと中性子星についても、同じことについて検討する。ブラックホールの陽子のラブと陽子のラブの間の引力は、地表の電子のラブと電子のラブの、3.408 × 10<sup>36</sup>倍です。軌道エネルギー=速度<sup>2</sup>=引力<sup>2</sup>。光の軌道エネルギー=9 × 10<sup>16</sup>Jm。ブラックホールの軌道エネルギー=速度<sup>2</sup>=引力<sup>2</sup>=物と物の間の引力<sup>1/2</sup>=(3.408 × 10<sup>36</sup>)<sup>1/2</sup>Jm = 1.846 × 10<sup>18</sup>Jm。吸い込まれる軌道をx mとする。9 × 10<sup>16</sup>Jm = 1.846 × 10<sup>18</sup>Jm ÷ x m。x m = 1.846 × 10<sup>18</sup>Jm ÷ (9 × 10<sup>16</sup>Jm) = 20.511m。(特願 2016 - 230715)